

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年3月1日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675400115
法人名	医療法人 拓和会
事業所名	ろうけん大楠グループホーム「たんぼぼ」
所在地	鹿児島県姶良市蒲生町下久徳1251番地 (電話) 0995-54-3101
自己評価作成日	平成30年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成30年2月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ろうけん大楠グループホームたんぼぼは、介護老人保健施設や居宅介護支援事業所と隣接し、母体事業所との連携も整っています。日々の出来事を忘れ、明日への希望が持てない生活を送っている入居者様が多い中、その日その時を大事にし、入居者様の出来ることを維持しながら、共に支えあう関係作りを目指しています。天然温泉があり、入居者様の要望で毎日でも入浴できる様にしています。また、地域での蒲生市やどんと祭りに参加したり、たんぼぼ農園で季節の野菜を作ったり、気候の良い時にバーベキューなどを行ったりと楽しみの持てる環境作りをしています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は母体が医療法人であり介護老人保健施設・居宅介護支援事業所と隣接している。母体事業所と連携が整っている。
- ・高齢者福祉に対する意識が高く、蒲生に根ざす医療・福祉事業者が構成メンバーとなって「かもろ地域支え合い隊」愛称で『かもふあみ』と呼んでいる。徘徊模擬訓練や福祉体験学習等、地域で色々な取組をしている。
- ・外出支援は、歩行困難なケースでも介護老人保健施設の車で藤の花や芝さくら見物、桜の下でバーベキュー、どんと祭り、かもろ市、そうめん流し等に出かけている。
- ・管理者は、職員が話易い環境づくりに努め、職員の意見や提案を運営に反映させている。職員間の連携もよくとれて利用者や家族からの信頼が厚い。
- ・入浴は天然温泉であり毎日でも入浴できる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>管理者と職員は、毎朝理念を暗唱し、日々の介護の中で実践につなげていけるよう努めている。理念は、見やすい所に掲示してある。</p>	<p>理念は事業所内に掲示し、職員は暗唱して全部覚えて意識づけている。毎年理念の中から年度方針・目標を設定し、その人らしく暮らしているか、支援する中で日々のケアを振り返り確認して、理解を深めながら実践につなげている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>誕生会等の行事に地域の方々がボランティアで来ていただき交流している。夏祭りには地域の方も来られ楽しんでいただいている。</p>	<p>ホームの夏祭り・運動会・敬老会・誕生会に家族の参加やボランティアの訪問がある。中学生の福祉体験学習や高校生の実習の受け入れも行っている。地域の行事のどんと祭りやかもう市に出かけて、知人との出会いがあったり交流ができています。近隣から野菜など差し入れもあり日常にお付き合いができています。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>地域の中学生の職場体験学習の受け入れや運営推進会議などで民生委員の方々に認知症関連の議題を通して実践報告や情報提供を行っている。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者様・入居者様家族・役所職員・民生委員の方々の協力を得、活動報告等を行っている。また、救急救命対応や防災訓練などにも参加していただき、意見交換を行い、改善や実践に取り組んでいる。</p>	<p>2ヶ月毎に定期的開催し、ホームの現状報告・年間計画・年度運営方針・行事活動報告を行い意見交換をしている。消防署の指導で救急救命の講習に高校生も参加して行った。出された意見は運営に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議にて、事業所の取り組み、ケアサービス内容など写真を見ていただいたりしている。市町村担当との意見交換も行い、アドバイスを頂いている。</p>	<p>市の担当者とは、電話や出向いたりして情報を得たり相談やアドバイスを受けている。運営推進会議にも参加があり事業所の実情や取組を理解してもらっている。行政主催の研修会には、積極的に参加して、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を作り、グループホーム会議で勉強会を行っている。転倒・離設予防の為、話し合いを行い、拘束しないでケアの実践が行えるよう話し合いを行っている。身体拘束は行っていない。言葉使いにも十分注意している。</p>	<p>マニュアルを作成し法人・グループホーム共に、身体拘束廃止委員会があり、拘束の具体的な事例をあげて、拘束しないケアの実践が行えるよう定期的に勉強会を開催し研修している。精神的な拘束、言葉による拘束にも配慮している。新人の職員にはチェックシートを作り研修を行っている。日中の玄関の施錠はせずに外出したい時は職員が寄り添って同行している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>高齢者虐待防止法について、グループホーム会議で勉強会を行い、入居者様対応を振り返り、虐待に対する意識づけをおこなっている。特に言葉による、拘束・暴言・虐待が精神的苦痛やストレスを与えることを認識しながら対応している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>グループホーム会議等で学ぶ機会を持っている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に訪問していただき施設の案内行い、理解いただく。契約時には、ケアへの取り組みや「重要事項説明」に基づき、入居者様の状態変化や退居時のどの説明、ご家族の希望など契約時に話し合い納得していただき同意を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様・入居者様家族とのコミュニケーションをはかり、意見・要望を聞き、運営改善に努めている。意見箱を設置している。面会時など声かけを行い、ご家族との関係性が保てるように努めている。</p>	<p>入居者からは、日常会話やケアプランの見直しの時に把握している。家族からは面会や行事参加時・運営推進会議時に意見や要望を聞いている。申し送りノートや業務日誌でも気づきがあり、意見や要望は運営に反映している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回、ケア会議とグループホーム会議を行っている。管理者は、職員の意見に耳を傾け、職場を盛り立てる雰囲気作りに配慮しているが、中には意見の言えない方もいるので、職員の日々の行動の変化に気をつけ、コミュニケーションが図れるよう努めている。	グループホーム会議を合同で月に1回、ユニット毎にも行っている。理事長に報告する件もあり、個人面談も年1回は対応している。タイミングを見て、帰りに声かけしたりコミュニケーションがとれている。利用者の買い物支援の意見があり、対応して運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に個人面談等行いながら、職員の健康状態や疲労等への配慮をし、勤務条件等も考慮している。向上心を持って意欲的に働けるよう支援している。		
13		○職員を育てる取り組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修に公費による勤務扱いで積極的に参加させるなど、研修に理解を示し、教育・スキルアップなど人材育成に対する環境は整っている。研修報告を会議の中で行い他の職員への情報提供も行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム協議会に登録し、研修会や講演会を通して積極的に交流を図ったり、近隣のグループホームと交流の機会をもち、様々な課題・問題解決について話し合う機会がもてる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時には、特にコミュニケーションを持つように心がけ・入居者様の今までの生活状況などの把握に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の面会時には、入居者様の様子など積極的にお伝えするようにしている。ご家族様の要望にも耳を傾けるように努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様の身体的。精神的状態を把握し、どう支援していくか、職員間で統一した介護が出来るよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活する家族のように接し、出来ることは一緒にして頂き、出来るだけ楽しく生活していただけるよう声かけ、日々の表情などにも気を配り接していくよう努めている。食事の買い物等にも同行して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話やお便り、面会時など、日々の入所者様の様子をお伝えし、家族の絆を大切にしているよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や知人など面会に来ていただけるとの雰囲気作りを努めている。思い出の話など聞いている。墓参りなどにも職員と一緒にいき喜ばれている。	入居時にアセスメントでの情報や日常の会話から、馴染みの関係を把握している。家族・友人・知人の面会者がある。ボランティアで来所した知人との出合いやぬり絵のハガキの対応も行っている。美容室は訪問であり、馴染みの店に買い物や墓参りにも同行して、人や場との関係の継続支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の性格や日常の関係性について、全ての職員が共有出来るようにしている。トラブルがあった時は、お互いの思いに耳を傾け入居者様同士が出来るだけ楽しく生活出来るよう配慮に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院された方などのお見舞いや、ご家族に容態など伺ったりして関係が途切れないよう努めている。お葬式などの参列もさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の会話や過ごし方の中で入居者様の意向をくみ取るように心掛けている。入居者様の言葉・表情の変化など見逃さないように努めている。	利用者の日常の会話や所作・表情から、思いや暮らし方の希望を把握している。ケア会議の記録や食事を一緒にして話すこともある、困難な場合は、家族の情報や職員間の日常の細かい観察で、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご家族より情報を聞き、生活暦、馴染みの暮らし方の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様のその日の身体的・精神的状態を把握し、その日に可能な日課や活動を支援している。状態を観ながら強要しないよう柔軟に対応し、カンファレンスを開いて検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月1回ケア会議を行っており、問題点など出し合い、意見交換し、計画の見直しを行っている。	月1回のケア会議を開き、管理者が中心になり、主治医の意見を入れて担当者や職員で話し合い、本人・家族の意向を踏まえて、意見やアイデアを反映させ、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に行い見直しは6ヶ月で実施している。状況に変化があった時はその都度見直し現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践を、個別記録に記入、職員間で記録を読み、情報の共有に生かしている。また、介護計画の見直し、内容などは、申し送りノートに記載し、介護の統一を図っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>体調不良時の通院、薬の依頼、受け取りなど職員が支援している。家族の要望による皮膚科や整形受診なども職員が行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域で行われるどんと祭りや、蒲生市などに出かけたり、地域のボランティアの訪問をうけたり、民生委員や消防署の指導をうけ火災訓練など実施している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご家族・本人が希望される病院への受診、ご家族が同行不可能や緊急性のある場合など職員が代行するようにしている。歯科の往診なども受けられるよう支援している。ご家族には、受診結果報告も行っている。</p>	<p>本人や家族の希望により母体医療機関がかかりつけ医になっている。往診が2週間に1回ある。状況が変化の時は24時間医療連携体制が整っている。歯科は往診である。眼科は職員が同行したり家族の協力を得ている。家族が遠方の場合は職員が対応している。受診結果は家族に報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員と看護職員は、日々の情報交換を行い、細やかな観察記録・バイタルチェックを行っている。関連病院の医師・看護師との連携に努め、状態変化時は、情報を提供し、指示をおおいでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は、継続介護連絡表を病院に渡し、情報を共有している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居者様の病状により、今後の終末期のあり方について、医師・家族と話し合い方針を共有し支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針は入居時に『重度化対応に係る指針』『看取りに係る指針』を提示して説明し同意を得ている。指針のマニュアルもあり、入居者の状況が変化の時は、主治医と家族が再度話し合い、医療機関の選択肢もあること等を話して、方針を共有するようにしている。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の指導による救急講習を受けている。事業所での研修も行われ、マニュアルに沿って出来るようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練が行われている。新入職員が必ず参加するように計画されている。入居者様も参加している。</p>	<p>夜間想定避難訓練を年に2～3回行っている。定期的に自主訓練も実施している。避難経路確認・スプリンクラー・自動通報装置・防災設備点検等を行っている。新人職員も避難訓練を対応できよう取り組んでいる。法人全体で協力体制ができている。災害時の食料・水・ガスコンロ等、隣接する老人保健施設に準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	面会時等、居室のドアを閉めてプライバシーの保護に努めたりしている。トイレ・入浴時はカーテンやドアを閉めプライバシーを確保している。本人の呼び方や言葉使いは、一人ひとりに応じた対応に努めている。	マニュアルを基に介護の倫理やプライバシーの研修を行っている。排泄介助・入浴支援・過剰な介護はしない等の研修を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己表現できない入居者様に対しても、表情・様子をみながら声かけを行っている。難聴の入所者様に対し紙やボードを使い本人の思いを聞くことに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	身体的・精神的状況を確認しながら、その日の生活支援内容など決定し無理な介護は行っていない。声かけを行いながら日常生活の支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	起床時、入浴時、髪をとかす、ひげを剃る、化粧する等、出来る方はご自分で出来るように支援している。美容室より、出張サービスで定期的に散髪もしている。希望されれば、外出し美容室にも行って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや、つぎ分けなど入所者様へ協力をもらっている。下膳出来る入居者様には下膳をして頂いたり、テーブル拭き、お盆拭きなどもして頂いている。誕生日には特別メニューにしたり、行事にも対応したメニューを心がけ食事を楽しんでもらっている。	食事は好みや形態に配慮し、行事食・外食等に取り入れている。年2回のバイキングやおせち料理・花見・誕生会には食べたい献立を提供している。菜園で採れた旬の野菜の玉葱・オクラ・芋等を使い、献立のメニューも、お好み焼き・寿司・ピザの外食などを取り入れ、楽しい食生活を送っている。下ごしらえ・つぎ分け・下膳等、入居者と一緒に行い食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の病気に合わせた食事提供、水分量を考えた食事の工夫を行っている。毎月1回、体重測定を行い、食事量など考慮している。嗜好に合わせた食事の提供も行っている。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は、必ず口腔ケアの支援を行っている。口臭の強い入居者様には、うがい液なども利用している。義歯洗浄剤を利用し義歯の消毒も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意のない入居者様に対しては、定期的なトイレ誘導を行っている。尿・便意のある方は、その都度トイレ誘導を行っている。オムツ使用も入居者様に合ったオムツを選択し、必要最小限に努めている。	排泄チェック表で個々のパターンを把握して、トイレ誘導している。日中はできるだけトイレでの排泄を対応している。歩行のできる利用者はオムツをはずし、布パンツまで改善された事例がある。野菜とバナナジュース・牛乳・水分補給などに配慮して、自然排便ができるように、自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排泄パターンを理解し、食事・水分量の工夫・散歩など運動も行っている。便秘時、病院との連携により、下剤なども使用し対応している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や状況により、入浴支援を行い、本人の意思確認を取りながら入浴して頂いている。入浴時には、必ず見守り、転倒しないよう注意し、入居者様との会話にも努めている。入浴中の下肢運動なども声かけを行っている。	週3回が目安であるが毎日でも入浴できる。天然温泉であり、10時から18時頃まで柔軟に対応している。転倒しないように見守り、音楽を流したり、ゆっくり入浴している。入浴を拒む利用者は時間をづらしたり、介助者を変えたり、工夫して対応している。足浴は必要に応じて行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	リビングと自室を自由に移動で き、いつでも休息できるように している。布団の調整や、冬場 は、足浴・湯たんぽなども使用 し、安心して気持ちよく眠れる よう努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状 の変化の確認に努めている	入居者様の薬状書を把握し、い つでも確認出来るようにして いる。服薬前に必ず二人で確 認し、誤薬防止に努めている。臨 時薬などは、申し送りを徹底 し、症状の観察、追加処方など 病院と連携をとりながら、服薬 していただいている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活暦や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている	入居者様の出来るお手伝いをして いただいたり、入居者様同士 の会話や、職員との会話も出 来るよう声かけを行っている。誕 生日や行事の時は、食事内容も 検討し提供している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	天候をみながら、屋外への散歩 は心がけてはいるが、日々の外 出支援（買い物・ドライブ）な ど出来ない時が多くあった。花 見・そうめん流し・お祭りなど の行事には参加することが出来 た。	日常は散歩や農園に行ったりし ている。天気が悪い日は本人の 希望にそって買い物支援を行っ ている。計画をたてて初詣・花 見・そうめん流し・お祭り等、 遠方にも出かけている。家族と 墓参りや買い物に行ったり外泊 する利用者もいる。家族の協力 を得ながら、できるだけ戸外に 出かけるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>初詣・夏祭り・蒲生市など参加時は、使えるように準備し、職員と一緒に買い物を楽しむことが出来ている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者様からご家族への電話・手紙などは希望されれば出来るように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日清掃を行っており、共有の空間を気持ちよく利用できるような心がけている。季節の花や、壁画なども入居者様と一緒に作成し飾っており、季節感を感じて頂いている。車椅子の入居者様が多く、洗面・トイレが混雑することがある。</p>	<p>共用空間は天井が高く明るく空調管理が行き届いている。ホールには季節の花が飾られ、壁には利用者と職員の合作の作品が飾ってあり季節感がある。居心地よく談話できるソファも置かれ和室もある。お風呂は天然温泉で喜ばれている。居心地よく過ごせるように工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>長いすをリビングの二箇所に設置しており、入居者様がくつろげるようにしている。長いすに座りTVを見たり、会話されたり楽しんでいる様子がみうけられる。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者が色塗りされたカレンダーを飾ったり、ご家族の写真を飾ったりしている。家具は入居者の状況に合わせた配置にしている。</p>	<p>居室はベッド・エアコン、タンスが設置している。家から持ち込まれた布団・テレビ・暦・時計・位牌などが置かれ、家族写真や作品を飾り、それぞれ好みに設営し、居心地よく過ごせるように工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビングは車イスでも移動出来るように広々としている。手すりの設置もされており、不必要な物は置かないように環境整備に努めている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)</p>		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	<p>職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)</p>	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない